



*** 孫の夏休み LINE 届く ***



「エスコンで日ハムの試合見てきたよ。トイレの壁に『好きなことをより一層頑張れたら、毎日良い1日になるんじゃないか』と書いてあったよ。写真撮ったから送るね。お便りに使えるんじゃない!」と、孫からのLINEでした。野球好きの少年がそのままメジャーリーガーになって大活躍している大谷選手らしい言葉です。ご紹介します。孫たちは、それから、木下大サーカス、

北海道博物館の「北の縄文世界と国宝」展を見て、コストコに行ったそうです。最後に、「じいちゃんからももらったお小遣い全部使った…。楽しかった。ありがとう!」

おねがいします。



残念ながら日本は貧しい国?

マザーテレサさんが来日したとき、「どこか観光地を案内しましょうか?」と言うと「ホームレスの多く集まる場所に行きたい。」と言ったので新宿の公園を案内したそうです。その夜の歓迎レセプションで挨拶に立ったマザーテレサは、「日本は豊かな国かと思っていましたが、残念ながら貧しい国です。ホームレスの人の側をたくさんの方が黙って通り過ぎていきます。人間にとって本当の貧しさとは、社会からも見捨てられ、自分は誰からも必要とされていないと思うことです。」と話されたそうです。

ネットでの誹謗中傷、闇バイト、公共の場でのマナー違反など日本人の道徳性が問われています。しかし、学校の道徳の時間だけで道徳性、規範意識、公德心が身に付くものではありません。教育活動全体を通じて養われていくものであり、何より家庭の教育力(小さいころからのしつけ)が重要です。夏休みは、そのためにあります。お金を使ってどこかへ行けばいいというものではありません。

《ICT(コドモン)の最大のメリット》「ぜんほきょう」(幼児施設の業界誌)より



ICTによって時間と気持ちにゆとりが生まれ、子どもとより深くかかわることができたり、職員や保護者との情報伝達がスムーズになったり、ノンコンタクトタイム(保育業務中に子どもたちから離れる時間)ができて学びの時間が増えたり、業務負担軽減だけでなく、多くの利点につながるようになりました。デジタル化によって、逆にアナログ的な対話が増え、コミュニケーションや振り返りが充実するという点は、新たな発見でした。これからは間違いなく保育の質の向上に結びついていくことでしょう。新たなチャレンジを肯定的に受け止めることで、職場環境の働き方の変化だけでなく、保育本来の仕事である「子ども理解」にも変化が表れてきています。その変化がICT活用における最大のメリットなのかもしれません。

矢口副園長先生の脳はきれい?! 副園長が過日脳ドックを受けてきました

た。お医者さんから、「こんなきれいな脳を未だかつて見たことがありません。何か特別なことをおやりですか?」と聞かれたので、「特別なことなどしていません。こども園に勤めているからですかね。」と答えると、「それは素敵な職場ですね。」と褒められたそうです。還暦を迎えましたが、脳はしっかりしているので、まだまだ大丈夫と自信を持ったそうです。わくわく園で生活していると脳は、きれいになります。



8月21日(月)から 8月25日(金)までの予定

- 21日(月) 年中児健康相談(ひまわり組) 23日まで
- 22日(火) 支援センターとの交流(2歳児)
- 23日(水)
- 24日(木) たてわり保育(0~1)(2~5)2部
- 25日(金) 園内研究会(滝上、大空の先生、町内の小中高校の先生が参加されます。)

* 来週もまだ暑い日が続きます。今日の室温は26℃ですが、湿度は65%で蒸し暑く感じます。

暑いからといって家の中で、アイスを食べ、ゲームやYouTubeばかり見ていないこと

